

2017年度（平成29年度）
第1回福山市廃棄物減量等推進審議会 議事概要

2017年（平成29年）8月30日（水）10時～11時
福山市役所本庁舎6階60会議室

出席委員数（12名）

委員：三好良治 委員，園尾俊昭 委員，吉岡睦子 委員，瀬戸田誠 委員，萩田和照 委員，内田隆士 委員，宇田貴美 委員，（会長）鶴崎健一 委員，桑田学 委員，品川朋之 委員，大塚忠司 委員，佐藤彰三 委員

事務局：環境部長，環境総務課長，環境保全課長，廃棄物対策課長，廃棄物対策課産業廃棄物担当課長，環境啓発課長，環境施設課長，南部環境センター所長，西部環境センター所長，北部環境センター所長，北部環境センター新市業務担当課長，東部環境センター所長，環境総務課職員

【承認・報告について】

事務局から，会議は公開で行うこととし，傍聴人は2名であることが報告された。また，委員17名中12名の出席により定足数を満たしていることが確認された。

【会長・副会長の選任について】

承認事項	承認内容
副会長の選任	福山市廃棄物の処理及び再生利用等に関する条例施行規則第5条第2項により副会長は桑田学委員が選任された。

【議事（1）2016年度（平成28年度）ごみ排出量等について】

事務局から資料1による説明後，質疑応答がされた。

質疑・提案（委員）	応答（事務局）
RDF事業からの撤退が増えてきているが，なぜ増えているのか。福山市はどのような方針なのか。	石川，三重，福岡などで撤退が相次いでいる。RDFが導入されて10数年経ち，技術の発達により，ごみ処理の工法も工夫がされてきた。その中で他の自治体も様々な取組をしているのだと思う。 リサイクル発電事業は，最終処分場の延命化やダイオキシンの削減に寄与してきた。 また，福山市は今年3月に5年延長の方針を発表した。今後RDFを含め，一般廃棄物処理基本計画に沿って検討していく。

<p>資源回収量が500トン減少しているのはなぜなのか。</p>	<p>内訳を見ると、古紙類が減少している。新聞、漫画、雑誌購読者の減少による発生数の減少及びリサイクルショップでの買取がされていることが要因と考えられる。</p>
<p>資源回収の繊維類については、どの団体からの回収が多いのか。</p>	<p>古着などの繊維類については、子ども会や自治会が集めていることが多い。</p>
<p>昨年、府中市のオガワエコノスを視察した。産業の特有性を活かし、リサイクルのため布は別回収しており感激した。福山市でも回収率を上げるために有効ではないか。</p>	<p>古着については、イベントにおいて、子ども服の物々交換を実施しており、どちらかという排出抑制に重きを置いている。これからもリユースへの促進に取り組んでいく。</p>
<p>昨年度のごみ排出量について、プラスチックごみと可燃粗大ごみが増えている。家族構成や景気などが要因だと思うが、どのように考えているのか。</p>	<p>例えば、修理して長く使うより安いもの買い替えるなど、ライフスタイルの変化が要因だと考える。</p>
<p>福山市の1人当たりのごみ量は減少傾向が続いているが、日本全国では世帯数が増えている。この2つの関わりについては、今後考えていく必要があると思う。</p>	
<p>2つの関わりについてはぜひ分析してほしい。</p>	<p>承知した。</p>
<p>リユースについての取組を審議会の中で紹介したら、意識も高まるのでは。</p>	<p>エフピコがスーパーマーケットでのトレイ回収などの取組をしている。市のごみ分別ガイドブックの16ページにも古紙のリサイクルについて掲載している。引き続きごみの資源化を進めていく。</p>
<p>次回の審議会で取組の紹介、それについての議論ができればいいと思う。</p>	<p>承知した。</p>
<p>私たちの団体でも環境の取組をしており、3年前から食品ロスについての取組も始めた。食品ロス削減の啓発活動に力を入れてみてはどうか。</p>	<p>食品ロスについては、発生抑制が大切だと考えている。生ごみの3キリ運動や、10月から実施予定の「エコでえ〜ことHAPPYキャンペーン」において、食べ放題店での食べ残しをなくす啓発活動を行っていく。</p>
<p>資源回収について、着なくなった服が可燃ごみに混ざっていることがある。回収やリサイクルを企業と連携して行うこと、民間ができないところを行政が補うなどの取組をすれば、資源回収量は増え、ごみは減少するのではないか。</p>	<p>10月から実施予定の「エコでえ〜ことHAPPYキャンペーン」において、使用済み衣類などを買取してくれるリユースマーケットを利用すればエコポイントを発行するといった事業を10数店舗と協力して行う予定である。</p>

<p>企業との連携をぜひ深めてほしい。</p>	<p>承知した。</p>
<p>食品ロスについて、広島での会合に出席した際に、ある方が宴会での挨拶で、3010（さんまるいちまる）運動[*]を呼びかけているという話を聞いた。3010（さんまるいちまる）運動がさらに活発になればいいと思う。</p> <p>※3010運動とは 宴会時の食べ残しを減らすためのキャンペーン。〈乾杯後30分間〉は席を立たずに料理を楽しみましょう、〈お開き10分前〉になったら、自分の席に戻って、再度料理を楽しみましょう、と呼びかけて、食品ロスを削減するもの。</p>	
<p>ぜひ啓発の中に組み込んでほしい。</p>	<p>承知した。</p>
<p>今注目されているバイオマス発電について、福山市はどのように考えているのか。</p>	<p>福山市はバイオマス発電のひとつであるごみ発電としてRDF事業を行っている。木材等を使う発電については、国が固定価格買取制度によって高い売電価格を設定して普及を図る一方、原料が不足している現状がある。さらに、事業化して持続可能かどうかは調べてみないとわからない。ただし再生可能エネルギーの普及は大切であると考えているので、バランスをとりながら普及促進していきたい。</p>
<p>食品ロスについて、家庭だけでなく、食品を扱う事業者に対するの対策はしているのか。フードバンクや子ども食堂といった貧困家庭に対する食糧支援や、子どもたちに対するNPOなどと行政との連携の方向性は今後ありうるのか。</p>	<p>事業系一般廃棄物については、多量排出事業者は年間の実績を報告することになっており、排出抑制の指導・助言等も行っている。</p> <p>また、食品ロスには食品残渣の排出抑制と、賞味期限切れの食品など購入したが使わなかった食品という2つの考え方がある。後者について、他市では福祉部局等と連携していたり、NPOが事業を実施している例もあるが、福山市は大きな施策として展開できていないのが実情である。</p>
<p>私たちの団体では、賞味・消費期限が近くなったものを提供してもらってフードドライブ活動というものを実施している。昨年は地域の一人暮らしの方や高齢者福祉</p>	

施設, 小学校の学童保育でのおやつに使用した。	
食品ロスについての取組や状況も次回報告してほしい。	承知した。

【議事（２）次期ごみ処理施設整備について】

事務局から資料１による説明後，質疑応答がされた。

質 疑・提 案（委員）	応 答（事務局）
具体的な構想はまだ出来ていないのか。	８月３日に１回目の検討委員会を開催し，現状認識をした。９月に開催される２回目以降で処理量など具体について議論を深めていく。
福山リサイクル発電の事業期間が２０１８年度（平成３０年度）までとなっているが，それ以降の計画はあるのか。	福山市は，事業の５年延長の方針を今年３月の議会で報告した。参画市町や事業会社と延長期間について協議をしている状況である。
次回審議会時に，決まったことがあれば報告をお願いしたい。	承知した。